

年月日	18	04	04	ページ	08	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

物流口ポ
埼玉・幸手市の
拠点に73台導入

トラスコ中山

トラスコ中山は人工知能（AI）制御による物流ロボットシステム「バトラー」を、埼玉県幸手市の物流拠点「プラネット埼玉」に73台導入する。バトラーの採用は同社初、国内企業では4例目という。商品を行き先別に仕分けるピッキング作

業の効率を4・5倍に引き上げる。2019年夏に移働する予定。

トラスコはバトラー

導入の投資額を明らかにしていないが、プラネット埼玉の建設に150億円を投じる。プラネット埼玉は10月に開業する予定。約4500平方メートルの73台のロボットと1380台のロッを設置する。全50万アイテムのうち7万アイテムを取り扱う。

バトラーは印グレイオレンジが開発した。ロボット本体、専用の可搬式棚、ピッキングと棚入れをするワークステーション、充電装置、システム制御のソフトウェアで構成する。バトラーの国内独占販売権を持つGROUND（東京都江東区）が納める。



GROUNDが扱うバトラー